

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	健康診査・保健指導事業				事業番号	011-181	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	健康推進課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	現状値	—	目標値	—
			有	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	さかい健康プラン		
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	健康増進法、堺市健康診査及び保健指導の実施に関する要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区					
6	事業の対象	生活保護受給者等、特定健康診査の対象とならない40歳以上の市民				対象数	単位
						約19,700	人
7	事業の目的	健康診査の結果からメタボリックシンドロームの該当者及び予備軍を的確に抽出し、保健指導を実施することにより、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とする。					
8	事業内容	各区保健福祉総合センター生活支援課の担当者より周知を行い、受診を希望する者に受診票を発行し、健診実施医療機関で次の項目を実施。 基本項目・・・診察（問診・身体計測・血圧測定等）、血液検査、尿検査 詳細項目（詳細検査実施基準のもと、医師の判断により実施）・・・心電図、眼底検査 自己負担金・・・無料					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	一般社団法人堺市医師会					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	健康診査受診率	%		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	3.0	3.0	3.0	3.0
			実績値	2.2	2.3		
	達成率	73%	77%				
当該指標を選定した理由		健康診査の結果から保健指導を実施し、生活習慣病の発症や重症化を予防するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		生活保護受給者の健診受診率（健診受診率/生活保護受給者数）					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	実施医療機関数	か所		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	393	392	379	
			実績値	392	379		
			達成率	100%	97%		
当該指標を選定した理由		健診受診の機会を適切に確保するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		市内健診実施医療機関数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		健康診査・保健指導事業				事業番号		011-181									
Ⅲ. 投入量																	
事業コスト																	
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）																	
項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度									
		決算		決算		当初予算		当初予算									
13	財 源 内 訳	事業費（a）		6,639		4,361		4,643		4,626		5,308					
		国支出金		1,239		1,300		1,404		1,366		1,576					
		府支出金		0		0		0		0		0					
		市債		0		0		0		0		0					
		その他（基金繰入）		69		52		46		24		53					
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0					
		一般財源		5,331		3,009		3,193		3,236		3,679					
14		人件費（b）		1,070		1,620		1,680		1,680		1,740					
15		年間経費（c）=（a）+（b）		7,709		5,981		6,323		6,306		7,048					
事業費の内訳																	
（単位：千円）																	
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費		うち一般財源		項 目		年度		事業費		うち一般財源	
		消耗品費		R7 決算		10		10		通信運搬費		R7 決算		25		25	
				R8 予算		23		23				R8 予算		31		31	
		印刷製本費		R7 決算		195		195				R7 決算					
				R8 予算		274		274				R8 予算					
		健康診査		R7 決算		4,327		2,961				R7 決算					
				R8 予算		4,830		3,254				R8 予算					
		保健指導		R7 決算		45		45				R7 決算					
				R8 予算		97		97				R8 予算					
		甲状腺検査費用負担金		R7 決算		24		0				R7 決算					
				R8 予算		53		0				R8 予算					
		Ⅳ. 事業の効率性															
		単位当たり経費															
		17	区 分		単位		令和6年度		令和7年度								
① 受診者数			人		445		458										
② 上記①にかかる年間経費			千円		5,981		6,306										
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位		13,440		13,769										
算出についての説明等																	
Ⅴ. 評価																	
費用対効果に係る所見																	
18	受診者数はR5年度から受診者数が400人を超え、令和7年度は458人（受診率2.3%）と微増傾向である。対象者への保護決定通知に同封する健診案内を見直したことで、受診を促す効果があったと考える。																
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）																
19	健康診査・保健指導は、主に生活保護受給者を対象とした事業である。生活援護管理課や各区保健福祉総合センター生活援護課と連携し、生活保護受給者に対し、健診受診勧奨を行っている。 また、健診の結果に応じて、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導と同様の基準で階層化し、保健指導の基準に該当した受診者には、医療機関又は保健センターでおおむね3か月の保健指導を実施することにより、重大な疾病に至ることを未然に防ぐことができる。 庁内関係課と連携した健診・保健指導の実施により、対象者の健康状態の維持・改善が図られ、堺市基本計画2025の「健康で長生きできる都市の実現」やさかい健康プランの「個人の行動と健康状態の改善」に寄与したものと考える。																
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）																
20	必要性	■ 高い □ 低い	健康診査・保健指導は健康増進法に基づく健診であるため、事業の実施は必須である。加えて、生活保護受給者等、特定健康診査の対象とならない40歳以上の市民の糖尿病等の生活習慣病の早期発見や重症化予防に資する事業であることから、引き続き、健診の体制を確保する必要がある。														
	有効性	■ 高い □ 低い															